

令和2年度第4回岸和田市介護保険事業運営等協議会会議録  
第4回岸和田市地域包括支援センター運営協議会会議録  
第4回岸和田市地域密着型サービス等運営委員会会議録

<p><b>【案件】</b></p> <p>(1) 岸和田市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画(案)について</p> <p>(2) 上半期介護保険事業運営状況について</p> <p>(3) 上半期地域包括支援センター運営状況について</p> <p>(4) 地域密着型サービス事業所の指定状況について</p> <p>(5) その他</p>	<p><b>【日時・場所】</b></p> <p>令和3年2月18日(木)14:00～15:54 岸和田市役所 新館4階 第1委員会室</p> <p><b>【出席委員】</b> 12名</p> <p>・大谷委員・原田委員・浦田委員・木村委員 ・前田委員・山本博委員・太下委員・野内委員 ・田辺委員・山本一委員・山中委員・岡田委員</p> <p><b>【事務局】</b> 15名</p> <p>・濱上保健部長・西川介護保険課長 ・前田調整参事・船津保険料担当主幹 ・蓮井認定担当主幹・濱崎給付担当主幹 ・太田地域包括ケア推進担当長 ・小笠原福祉政策課担当主幹 ・天野広域事業者指導課担当長 ・上出(地域包括支援センター社協) ・三林(地域包括支援センター社協久米田) ・小川(地域包括支援センター萬寿園葛城の谷) ・西村(地域包括支援センター萬寿園中部) ・丸山(地域包括支援センターいなば荘北部) ・浅井(地域包括支援センターいなば荘牛滝の谷)</p> <p><b>【傍聴人】</b> 1名</p> <p><b>【その他】</b> 1名(計画策定業務受託事業者)</p>
--	---

事務局	<p>定刻前ですが全員揃われたので、ただいまから令和2年度第4回岸和田市介護保険事業運営等協議会・地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス等運営委員会を開催いたします。</p> <p>それではこれより会議に入ります。</p> <p>本日の協議会の傍聴についてですが、傍聴の方は1名です。</p> <p>傍聴の方には、条例施行規則の第4条に基づきまして遵守していただく事項があります。「拍手その他の方法により公然と賛否を表明しないこと」「発言しないこと」「他の傍聴人の迷惑となるような行為をしないこと」「会場において写真撮影、録画、録音等を行わないこと」の以上4点ですのでよろしくお願い致します。</p> <p>続きまして本日の会議成立の報告です。本日の協議会は全委員15名中12名の出席となっております。よって過半数の委員がご出席ですので、岸和田市介護保険事業運営等協議会規則第6条の規定により本協議会が成立していることをご報告します。</p> <p>続きまして資料のご確認をお願いします。</p> <p><b>【配布資料確認】</b></p> <p>それではこれより大谷会長に議事の進行をお願いします。</p> <p><b>【大谷会長あいさつ】</b></p>
会長	<p>それでは案件運営を進めてまいりたいと思います。</p> <p>案件1「岸和田市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（案）について」事務局より報告願います。</p> <p><b>【岸和田市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（案）について 事務局より説明】</b></p>
会長	<p>ご意見、ご質問があればお受けしたいと思います。</p> <p>生活支援コーディネーターが財政上の関係で6人から3人となっておりますが、これはまた増えない可能性もあるのですか。計画上は令和3年度はつかないが、令和4年度は6人ということで、あくまでも見込みと理解すれば良いのですか。</p>
事務局	<p>7期と同様になってしまったのですが、現段階では令和3年度の予算が難しいことが判明しました。地域包括支援センターの機能強化と併せて引き続き確保を目指していきたいので目標として令和4年・5年は6人としました。</p>

会長	<p>それから念願で、小規模多機能をしてくれる事業所が決まりました。次の介護保険事業の中でも整備がさらに進めば良いと思います。</p> <p>他にありませんか。</p> <p>特段なければ、案件2に移りたいと思います。案件2「上半期介護保険事業運営状況について」事務局より報告願います。</p> <p><b>【上半期介護保険事業運営状況について 事務局より説明】</b></p>
会長	<p>何かご質問等がありますか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の更新はそのまま6か月ですか。</p>
事務局	<p>臨時的取り扱いということで、本市では申し出があれば12か月延長しています。</p> <p>今も緊急事態宣言下で増えており、3月末の有効期限で更新される約400件のうち約150件、おおよそ38%が延長措置の申し出をいただいています。状況によって変動することが今年度続いています。</p>
会長	<p>従って3ページの要介護認定の状況等は、来年度また変化があると思います。</p> <p>予防体操等に取り組んでいますが、残念ながら認定率がそんなに下がっていません。そのあたりの理由はどう分析されていますか。これは後ほど結構です。</p> <p>他の委員の方いかがでしょうか。</p> <p>5ページの▲がグンと上がっている要因は何かわかりますか。</p>
事務局	<p>下の表の▲印でしょうか。</p>
会長	<p>そうです。</p>
事務局	<p>報酬改定によって利用者負担が増えたことと、高額介護合算サービス費が1年ずれて支払いになりますので、その分の金額がかなり上がっていることが影響していると思われます。</p>
会長	<p>介護保険利用率が77%で、大阪市でもそこまではいかないです。そういう意味では、しっかり調査してサービス利用を開拓していただいた結果かと思います。</p> <p>あと6ページの上から2つ目の表「事業所・施設数状況」ですが、「居宅介護支援」のセルフの方はどれぐらいおられますか。</p>
事務局	<p>自己作成の方ということでしょうか。</p>

会長	そうです。
事務局	ずっと自己作成で対応されている方は3～4名おられます。それ以外の方は皆さんケアマネジャーがついておられます。
会長	0.0何%かですね。
事務局	そうですね。
会長	<p>自分の介護を自分でマネジメントできることも大事なところかと思えます。他いかがですか。よろしいですか。</p> <p>なければ次に進みたいと思います。案件3「上半期地域包括支援センター運営状況について」事務局より報告願います。</p> <p><b>【上半期地域包括支援センター運営状況について 事務局より説明】</b></p>
会長	岸和田市の地域包括支援センターは6か所ありますが、そのうち3か所から実績報告をいただきました。お気づきの点はありますか。
委員	<p>社協からの説明の都市中核圏域の地域安心ネットワーク会議について、現場から感想と要望を考えてきました。第8期計画の34ページに「高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう」と書かれています。これを実現するためには利用者を地域に繋げていくことが必要です。ケアマネジャーのケアマネジメントも変わってきていて、昔は事業者と利用者の点と点を結び付ければ良かったのですが、今は地域に繋げるということで点と面を結び付けるように更新申請で言われます。その時にケアマネジャーとしてどう動けば良いのかと言うと、結局ケアマネジャーの人脈になります。だんじりのある町では各町にボスがいます。例えば老人クラブの会長や町会長のOBが自主防災会の会長をしていたり、育成会OBが育成会と婦人会の会長をしていたりします。この人達に話を通さないとややこしくなる。町に影響力を持つ、今風に言えばインフルエンサーにどれだけ人脈を持っているかになります。ケアマネジャーの人脈を広げられるような取組を増やしてほしいと思いました。</p> <p>あと、いき百等に出てくる人は元々元気な人が元気になっているだけです。そこから取りこぼして地域から孤立した人が要介護になっていく。そこを拾い上げていかない限りは出現率が2040年には24%近くになります。そこをカバーする取組は、もっと続けてほしいと思います。</p>

会長	<p>他の委員の方がいでしょうか。</p> <p>7ページで言うと、かなり人員にバラつきがあります。いなば荘は9名配置されています。人員が違うところが、疑問に感じるところでもあります。そのあたりはご検討願えればと思います。</p>
委員	<p>6圏域の人口比率を教えてもらって、その中で活動内容を見ていきたい。私も差があると思っていたので、人口比率を教えてもらった上で検討したいと思います。</p> <p>それと安心ネットワーク会議は本当に良い会議だと思います。包括ケアシステムの中に入っていますが、まだ社協1か所でしかやっていない。専門職ネットワーク会議と安心ネットワーク会議との違いが疑問ではありました。</p>
会長	<p>人口等については、すぐ大丈夫ですか。</p>
事務局	<p>令和2年4月現在の都市中核地域の人口は49,068名、65歳以上の高齢者は13,529名、高齢化率は27.6%です。続いて岸和田北部地域の人口は36,863名、高齢者は11,019名、高齢化率は29.9%です。葛城の谷地域の人口は33,446名、高齢者は9,185名、高齢化率は27.5%です。中部地域の人口は20,943名、高齢者は5,057名、高齢化率は24.1%です。久米田地域の人口は28,161名、高齢者は7,222名、高齢化率は25.6%です。最後に牛滝の谷地域の人口は25,134名、高齢者は7,424名、高齢率は29.5%です。</p> <p>8期事業計画案の16ページに、10月1日現在の中学校区別高齢者人口を掲載しています。これは総計に基づく6圏域の人口割合になっています。現状の包括が受け持っている圏域と若干ずれるところがあるので、100%一致ではありませんが大まかにはこれで見ていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>ご質問いただいていた安心ネットワーク会議と専門職ネットワーク会議については12ページに書いています。地域安心ネットワーク会議は、地域包括支援センター職員、社協職員、コミュニティソーシャルワーカー、市役所職員、ケアマネジャー、民生委員等にきていただいて、色々なテーマに基づいて研修を行うものです。専門職ネットワーク会議は、それらの会議をどのようにやっていくか企画しているメンバーが定期的集まっています。主に地域包括支援センター職員、社協の地域福祉担当職員、コミュニティソーシャルワーカーになります。各圏域によっては、障害福祉サービス事業所の職員も参加されているなど若干のバラつきはあります。上半期はコロナの影響もあり、安心ネットワーク会議は他の圏域も開催されていないのですが、例年であれば各圏域1年に1～2回は開催しています。</p>
会長	<p>●委員よろしいか。</p>

委員	普段はしているが、今回はやっていないところもあったということですね。
会長	他の方はいかがでしょうか。 なければ先に進みたいと思います。 それでは、案件4「地域密着型サービス事業所の指定状況について」事務局より報告願います。
	<b>【地域密着型サービス事業所の指定状況について 事務局より説明】</b>
会長	共用型はどれぐらいありますか。
事務局	1件ございます。
会長	共用型サービスは、次の高齢化社会の一つのポイントと考えられています。人材が枯渇する中、地域で様々な人々を支えることが一つの流れになっています。富山県の「このゆびとまれ」がそうですが、児童・障害・高齢これらを全て利用できる共生サービスが政策的に今後推進されていくことになると思います。去年の社会福祉法の改正で地域包括支援センターもそうですが、ケアマネジャー、子どもの相談員が地域課題に取り組まないといけないと明示されました。そういう意味で相談体制の丸ごと化、あるいはサービスの丸ごと化が次のステージになってくると思います。今までは分野ごとにサービスを繋げていけば良かったのですが、排除される方が何人もいるわけです。地域課題は何か。個に結び付けるだけでなく、そこを支える・発見する仕組み、面を支える仕組みを作っていけないといけないのではないかと個人的に思っています。 何かご質問等がありますか。 それでは、案件5「その他」について何かありますか。
事務局	先ほどいき百と出現率が増えている件についてご質問がありました。岸和田市は介護事業所が多いので需要が供給を生み出しているところも否めないところです。利用者の年齢構成を見ると、男性は75歳以上の方で半数、女性は85歳以上の方で半数を占めています。高齢者人口が増えていることが、出現率が増えている大きな要因になっていると思います。
会長	事務局から補足説明がありました。 8期計画についての大阪府との協議について説明をお願いします。

事務局	本日ご協議いただいた計画について大阪府の法定協議にかけます。本日以降に軽微な修正等が生じた場合は、会長と相談の上事務局で変更することを一任いただけたらと思います。
会長	この委員会は今日で終了なので、軽微な修正については一任いただきたいとのことです。よろしいですか。  (委員一同異議なし)
会長	ご承認いただいたので、その運びで計画案を進めたいと思います。各委員から簡単で結構ですので、一言でも感想なり思いなりを伝えていただければと思います。
委員	特別重要なことでも何でもなく、私自身がわからないので教えてください。パブリックコメントは2名、3件とのことですが、だいたいこんなものですか。少ないような気がするのですが。
事務局	本市の広報広聴課にパブリックコメントを出して、意見件数や内容についてホームページに掲載しています。その他のパブリックコメントでは全く意見のないものもありますし、600件を超えているものもある状況です。
委員	パブリックコメントを求めていることがわからなければどうしようもないと思いますが、広報はできているのですか。
事務局	広報誌には掲載しています。
事務局	ホームページにもパブリックコメント用のコーナーがあります。そこで今あげているパブリックコメントがわかるようにして、その対応についても掲載しています。
委員	なかなか意見が集まりにくいのが現状ということでよろしいのですか。
事務局	ちなみに7期の時は1件でした。
会長	600件も集まるのはどんな計画ですか。
事務局	保育関係の計画です。

<p>委員</p>	<p>今日お話にあった点と面を結ぶ作業はなかなか大変だと思います。町会には非常に細かな情報が入りますが、オープンにできない問題点があります。それをオープンにできるような状況があればと考えています。私どもの町の中で、本来表に出なければならない方がいます。認知症+精神障害の方です。ご家族もそのことに一切触れないので表に出ません。そういうことを町会としては掘り起こしているのですが、表に出せないで手を挙げない限りはわからない。これでは問題があると思います。</p> <p>あと予算の件です。高齢化対策の予算はどこかでつまずいてしまうのではないかとこの危機感を持っています。</p> <p>最後にパブリックコメントが出ない件について。町会単位でアンケートを取ると、回答率は50%程度あります。パブリックコメントは敷居が高いような気がします。その点は改善が必要ではないかと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど話に出ていたケアマネと民生委員の会合は、前年度に民生委員と地域の福祉委員で参加して色々な話をさせていただきました。ケアマネと意見交換ができたことは、その後の繋がりもできてすごく良かったです。今後そういう機会があれば、是非ともお願いしたいと思っています。民生委員もなかなか動きが取れず難しいと思いますが、なるべく地域の皆さんと情報交換をして見守れるように頑張りたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>保険料の問題です。7期の時は5割、今回は7割を基金から取り崩して値上がりの基準額が設定されたとのことでした。今後基金をどのような形で取り崩していくのが良いのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>基金についての考えですが、初めから基金は保険料を抑制するためではなく、3か年の間で収支を図れるように準備する、あるいは急激な給付に備えるためにストックしておくものです。ただ最近は剰余金が続き、7期は8億のうち4億を取り崩す計画でした。これは3か年での見込みで出しております。給付見込や施設整備等を勘案して国の見える化システムではじき出して保険料が決まります。今回周辺の市町の状況を調べました。予算編成の段階なので一部変わっているかもしれませんが、半分以上を取り崩すところもありますし全部取り崩すところもあります。岸和田市では、前回と今回で取り崩す割合は変えましたが、一定基金が溜まっているので保険料抑制にもできるだけ使いたい、しかし第9期に非常に不安を覚えています。1号被保険者の負担割合が据え置かれましたが、今後上がる可能性があります。1%で数億円かかってきます。これから地域包括ケアシステムを目指しながら、団塊の世代の方が後期高齢者に到達する2025年問題はあくまでのスタートであり、9期以降に一定残しておく必要があります。あと保険料の伸び率は場合によっては</p>



委員	<p>据え置き団体もあるかもしれませんが、全く上昇しないわけにもいかないの、結果的には3%の伸び率に抑えたと考えています。9期以降の運営には新たに将来の見込みを立てていく必要があると思います。考え方としては以上です。</p> <p>認知症カフェも今後どんどん増えていき、地域の活性ができればという思いがありました。訪問看護で専門のリハビリ職がされているところが今後なくなっていくという話の中、今回は利用者の反対もあって訪問看護にリハビリ職が入ることも聞いています。コロナの影響による金額や中味の変更が、今後どんどん出てくると思います。介護を受けながらも利用できないということがないように、事業所が多い岸和田の良さを生かしながら利用者がより良く過ごせるような市になってほしいと思います。</p>
委員	<p>コロナ禍で施設全体が大変な時期でした。そんな中で地域包括の活動報告を聞き、見えないところでたくさん活動されていることを多くの方に知ってもらえたらと思いました。パーセンテージで見えないもっと深いところで活躍されていますので今後も頑張ってもらいたいと思います。会長がおっしゃった地域で支えるシステムづくりは今後ますます必要になってくると思います。私どもの施設では訪問介護事業もしています。サービス対象ではないお宅に行き支援したこともあります。地域の人に支えてもらいながら、皆が岸和田に住んで良かったという関係づくりが今後もっと必要になってくると感じました。</p>
委員	<p>地域の方と色々取組を行ってきましたが、このコロナ禍で集まることが無理だと感じています。包括で個々に対応されていると聞き、今はそこのだろうと思っています。地域と繋ぐ地域包括支援センターに頑張ってもらって、コロナが収束した際は皆でカフェや助け合いができるようになれば良いと思います。包括には期待しています。</p>
委員	<p>一番心配しているのは人材のことです。コロナで失業率が上がっているところで、福祉に人材が戻ってくるかと期待していたのですが、全く戻ってきません。今回2つデイサービスが廃止しています。何故廃止したのか。もしかしたら人員が集まらなかったから黒字倒産したのではないか。そういうところまで踏み込んで分析を広域にはお願いしたいと思います。1つ廃止すると、その利用者や他を他に割り振らないといけない。そしたらそこに負担がかかります。人員基準が達成できないから受け入れられない悪循環が生まれます。2040年には3万人くらいの高齢者が増えて、40歳未満が3万人減る。どこかのタイミングで一気に黒字倒産が増えると思います。ここを解決するには、条例で人員基準を緩和しないといけないのではないかと思います。また情報収集をお願いします。</p>

委員	<p>コロナ禍が関係しているのかどうかわかりませんが、薬局の患者さんでも総体的に年齢層が上がり、認知症の方が増えてきています。薬がてんこ盛りのご家庭もあると思います。一声かけてもらえれば、こちらも把握して何か提案ができます。介護関係者からすると、薬局に在宅介入させられないような人は相談できないというハードルがあるのではないかと思います。我々ができることもありますので、声をかけていただけたらと思います。</p>
委員	<p>この会議では口腔の専門家としての意見で、多少偏りもあったかと思いますが。かみかみ百歳体操を取り入れていただいた実際の効果はなかなかまだ見通せない状況ですが、コロナ禍においては高齢者のフレイル等予防の観点から、あるいは感染予防の観点からも首より上の部分への関心度をもっと上げていただくと、給付率を下げる効果が徐々に現れてくるのではないかと期待しています。第8期の給付費を見ると莫大な数字だと思います。介護保険課のみならず予算組は大変だと思いますが、若い世代が転入してくれる魅力あるまちに進んでいただけることを期待したいと思います。</p>
委員	<p>こういう立派な計画ができあがっていることはすごく良いことだと思います。先ほどから言われているように、地域で問題を掘り起こして解決していくためには、顔が見える関係が大事になってくると思います。コロナ禍で宴会するわけにもいかないし、どうやってその関係をつくるのか。ZOOMも顔は見えませんが、仲の良い関係はなかなか構築しづらい。今後宴会に替わる新たな方法を考えないといけない。皆さんで知恵を出し合いながら考えていかないといけないと改めて思いました。</p>
委員	<p>福祉関係者の皆さんはご存知だと思いますが、コロナ禍でかかり増し経費の支払いをやっています。福祉事業所ではかかり増し経費バブルみたいな状態になっています。報酬は変わりませんが、色々なものがお金として入ってくる状態になっています。本当にこれが支払われて、介護報酬や障害福祉サービスの報酬に影響を与えないのか非常に心配される部分ではあります。もう一点は障害者の高齢化の問題もそこにはあります。介護保険計画を見ても手帳所持者とかそういうことは一切書かれておらず、障害福祉サービスからの移行組が何人いるのかも全くありません。併用組も現実におられます。今は良いですが、そのうちそういったものも勘案しないといけなくなってくるのではないかと思います。現状では障害福祉は100%税です。ところが、介護保険は保険なので財布が違います。そのあたりは国の動きも気をつけて見ていかないといけないと思っています。</p> <p>岸和田市はそれほど大きな町ではありませんが、コンパクトに小回りの利く良いことをされていると感じています。人口が多くて税収が多ければ良いことができるか</p>

<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>と言うと、そういうわけではないと思います。お金をそんなにかけずに小回りの利くことができる泉州独特の地域性もあると思います。それらを生かした施策が取られていくべきだと思う次第です。</p> <p>それでは、マイクを事務局にお返しします。</p> <p>今年度最後の協議会・運営委員会をこれで終了とします。</p> <p>委員の皆さまの任期は3月31日までとなっていますが、協議会は本日が最終となります。計画書は、製本ができ次第郵送させていただきたいと思います。</p> <p>来年度からの委員委嘱についてです。本協議会の構成は学識経験者、公共的団体等の代表者、市民代表委員となっています。年度が替わる4月・5月頃には各団体に推薦をお願いしたいと考えています。また、市民公募委員は広報の5月1日号で公募する予定となっています。</p>
----------------------	--